

小児



コーナー

あじま診療所
小児科 医師
森 英一



「B型肝炎ワクチン」 のお勧め

B型肝炎ウィルスは、身体に入ると肝炎をおこし、長く肝臓にすみつき、肝硬変や肝がんをおこします。

日本では以前はかかる確率は低いとされ、B型肝炎ウィルスを持った母親から分娩時に子どもにうつることを予防する母子感染防止策が1986年から実施されてきました。実際は、血液を介しての感染や感染経路不明で知らない間にかかることも多く、毎年約2万人がかかり、感染者は約100万人と推定されています。

WHO (世界保健機関) では、すでに1992年から世界中の子どもたちに対して生まれたらすぐに国の定期接種としてB型肝炎ワクチンを接種するように指示しています。

これまでは任意接種でしたが、今年の10月からは1歳未満を対象に定期接種になる予定です。名古屋市では、すでに費用助成が始まっており1回2,700円で接種できます。1歳以上は自費にはなりますが、3歳未満で感染すると慢性化しやすくなると言われており、早めの接種をお勧めします。

B型肝炎ウィルス予防接種の打ち方

